

2022. 7. 4

発行: 桜本保育園

044(288)2545

えんだよい 7がつごう



まいにち 暑い日がつづき 水遊びが だいすきな
なこどもたちは 大喜び。 シャワーの雨を
降らせながら 涼しい環境をつかって 遊んでい
ます。

畑の なすや パプリカなど こどもたちが ま
いにち お水あげながら おおきくなるのを 楽しみ
にしています。 メロンと スイカの 苗も 伸びて
きました。



プランターは おくらが 育ってきてい
ます。 なすも 10個以上 実をつけています。

ことしも こどもたちのだいすきな「おみせやさんご
っこ」がおこなわれました。 ATMで おかねを おろ
して スタート。 まいとし こどもたちの すがたに ほ
っこりします。



井田保育園の 園長先生が 笹を 届けてくださ
いました。 川崎区では 笹が 手に入らないだろう
と 毎年 声を掛けてくださいます。 ありがとうございます。
さっそく たんざくに
願い事を 書いています。 みんなの
願い事が かなうといいですね。



7月のよてい

- 1日 にじいろめにゅー
- 8日 へんじ ティキョウ
- 15日 にじいろめにゅー
- 20日 園児健診
- 28日 わくわくひろば

Family Joyfull DayJ

- 28日 へび せんあーてい
- 29日 ILAW LUZ

6月8日(水) 花の白礼拝を 新しくできた
礼拝堂に 行って 行いました。 こどもたちは
ステンドグラス・礼拝用のいすなど 初めに見る
礼拝堂の場所で 緊張して「ドキドキ」。 新館で
活動している おとなたちが 大歓迎して あちこ
ちのところから きて 手を 振ってくれました。
帰るときには 勉強していた ハルモニ(おばあち
ゃん)たちが「もう帰っちゃうの?」と 残念そう。
これからも 何度か行く予定なので ハルモニたち
との 交流も できると 楽しいですね。



News・おしらせ・알림・balita

★ 入園しました

1名

★ あたらしいスタッフです。

1名

★ 退職しました。

1名

よろしくおねがい
します

お世話になりました。

こんげつ せいく 今月の聖句

「互いに仕え合いなさい」

「父親たち、子どもを怒らせてはなりません。主がしつけ諭されるように、育てなさい。」

(エフェソの信徒への手紙6:4)

「授かる」という言葉を辞書で調べると、「神仏や目上の人などから、(金では買えない)大切なものを与えられる。いただく」とあります。その例文として「子を授かる」「知恵を授かる」などが挙げられています。

キリスト教においても「神さまから与えられる」という言葉をよく使いますが、「授かる」という言葉には、「神さまが与えてくださった」という尊厳と畏敬の念が込められており、大切にしたい言葉だと思います。

家族に関する多様な考え方がある中、「家族のあり方」が問われていると思います。

今月の聖句は、「家庭訓」と言われるうちの一つである「親子関係」についての教えです。様々な「家庭訓」と同様に、「キリストに対する畏れをもって、互いに仕え合いなさい」(エフェソ5:21)というメッセージが、親子関係においても互いのあり方を考える基本として教えられています。

子が親に対して孝行すべきことはよく言われることですが、ここでは親が子に対してどうすべきかが語られています。まず「父親たち」とありますが、「父親」だけに限定しているわけではありません。当時の考えでは親の代表、いわゆる「家父長」としての「父」と呼びかけているのです。いまは、「親たち」と言い換えてもよいでしょう。

「子どもを怒らせてはなりません」は、「物事を正しく判断しないで、自分の感情で判断して子どもを叱らないこと」を意味します。たとえば、大人が守っていないことを子どもに要求するならば子どもを怒らせる原因となりますし、大人の願望を子どもに過剰に期待することも子どもの心をゆがめてしまうことになると思います。だから首尾一貫しない態度でしつけをし、子どもを怒らせるのではなく、「主がしつけ諭されるように、育てなさい」と勧めます。

子どもを育てるということは、大人の日常の姿勢全体を問うことから始まるのではないのでしょうか。神さまは変わらない愛と忍耐をもって、一人ひとりのいのちを守り導いてくださいます。「キリストに対する畏れをもって、互いに仕え合い」、誰もが大切にされることを願うものであります。

(チャブレン 鄭富京)

おみせやさんごっこ

